

大島町町長 三辻利弘 殿

2020.3. 10 (火)
日本共産党大島町議団
団長 山田忠敬

新型コロナウイルス対策についての申入れ (第2次)

日頃より町民の福祉向上のためご尽力いただき敬意を表します。

さて、過日私たちは「新型肺炎問題についての申入れ」をさせていただきましたが、状況は改善どころか毎日のニュースを見ることすら怖くなるような状況です。町でも対策本部を立ち上げ、対応にご奮闘下さっているとのこと。観光客が激減していること、学校の突然の休校、医療への不安などから、街には経済的問題を始め、深刻かつ様々な問題や不安が生じています。

そこで、大島町として町民のいのちと健康を守り、暮らしへの影響を最小限に食い止めるためにどう対応していくのかお聞きするとともに、現段階で私たちが考える対応について以下申入れさせていただきますので、ご検討ください。

記

1. 町として、観光協会・商工会などと協力し、商工業への影響の実態と業者の要望を把握するとともに、業者からの相談窓口を設置すること。
2. 商工業者に対し、融資・助成を始めとした緊急支援を行うこと。(低金利への借り換え・つなぎ資金の融資・無利子のための利子補給など)
3. 野菜農家・花卉園芸農家にも価格の暴落を始めとした影響が出ている。商工業者同様に実態と要望の把握を行い、支援を実施すること。
4. 学校の一斉休校により、子どもたちにも、保護者にも様々な形でストレスが生じている。学校施設の臨時開放、教員による学習支援活動、中学校の部活動など、学校の自主的判断に基づくストレス解消の方策を検討し、実施すること。
5. 給食がないために子どもたちの昼食に保護者は苦慮しているので、例えば弁当業者へ働きかけるなど、手立てを講じること。
6. 情報を正しく、すみやかに流すことが、肝要である。大島町ホームページの活用を図るなど、町民が「デマ」「根拠のないうわさ」などに振り回されることなく、正しい判断に基づく行動がとれるようにすること。すでに数件、大島にコロナが発生したとの情報が流れていて、医療センターでも迷惑しているとのことである。
7. 御神火温泉の臨時閉鎖で、家庭の風呂をもたない住民が数日間入浴できないという事態が生じたので、今後も含め対策を考慮すること。

以上